

美術 (Fine Arts)					
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
一般科目	必修	2年	2	演習	佐古 淳子
<p>【授業の概要】 美術の領域の中で、絵画・デザインといった平面作品をとりあげる傍ら、本校学生に手の器用性が期待できることと、「ものづくり」の楽しさをあじわってほしいという願いから、木材を使って立体作品を制作する機会ももたせたい。鑑賞の力は、制作の中で折に触れて身につけさせたい。</p> <p>【授業の進め方】 基礎的な練習をした後、本制作に取り組む。机間指導により、個別に「つまずき」に対して「アドバイス」を与えることを繰り返しながら完成度を高めていき、表現力・創造性・意欲などを評価する。</p>					
【授業の概要】	【授業項目】			【内容】	
1回	オリエンテーション 人物クロッキー：絵画 素描：絵画 － 球体 －			絵画への導入として、作品を鑑賞し、内的創造活動の大切さを知り、美に対する感受性を豊かにする。 人間の理解の一端として、短時間で人体を把握する。目と手の呼応を実践する。	
2回	素描：絵画 － 器 － － 手 －			形の正確さ、明暗、量感の表現法を学び、絵画における基礎力をつける鉛筆の使い方を知る。これらの演習を次回、次々回の制作に活用していく。	
3回	素描：絵画 － 顔 －			同上	
4回	同上			同上	
5回	読書感想画：絵画			絵画としての読書感想画は、構成、明暗、奥ゆき、色彩、描写力、筆致とあらゆる絵画的要素を含み、主題の裏に必ず人間理解に似た、内的自己表現に到達できる奥の深さを持つ。指定図書を紹介し、過去・現在の愛読書も含めた中から共感できる図書と主題を決定していく。 (構想プリント使用)	
6回	同上			同上	
7回	同上			同上	
8回	同上			同上	
9回	同上			同上	
10回	同上			同上	
11回	同上			同上	
12回	同上			同上	
13回	同上			同上	
14回	同上			同上	
15回	同上			同上	
16回	同上			同上	
17回	同上			同上	
18回	絵画としてのパズル：木材工芸			手を使って「ものづくり」をすることは楽しい。心豊かになるには、額に汗して体を動かして作り、壁から作品をはずして、手に取る喜びが関係していると思われる。ベニヤという安価な素材を使って、それを磨き込み、半永久的な(紙の作品が朽ちてゆくのに対して)楽しい絵画作品を作っていく。	
19回	同上			同上	
20回	同上			同上	

21回	同上	同上				
22回	同上	同上				
23回	同上	同上				
24回	同上	同上				
25回	同上	同上				
26回	同上	同上				
27回	同上	同上				
28回	同上	同上				
29回	彫刻作品に見る美術史：鑑賞	複製の教材を参考にし、一般教養として学習する。				
30回	ピカソ：鑑賞	ビデオを見ながら、ピカソについて理解を深める。				
<b>【到達目標】</b>	美術学習を通して美的感覚を洗練し、生活全般に役立てる態度を持たせたい。					
<b>【徳山高専学習・教育目標】</b>	C2	<b>【J A B E E 基準 1(1)】</b>				
<b>【評価法】</b>	芸術性 70%、創造性 20%、制作態度 10%で評価する。					
<b>【テキスト】</b>	高校美術Ⅱ					
<b>【関連科目】</b>	書道、工芸					
<b>【成績欄】</b>	前期中間試験 【           】	前期末試験 【           】	前期成績 【           】	後期中間試験 【           】	後期末試験 【           】	学年末成績 【           】